

健身練（けんしんれん）豆知識

毎週、土日の早朝気功を鶴林寺（かくりんじ）で おこなっていますが、  
ここで鶴林寺のおこりについて説明します。

---

加古川の人々から「刀田（とた）の太子さん」として親しまれ、ときには  
「播磨の法隆寺」とよばれています。

聖徳太子が12歳のとき、高麗（こうらい）から恵便（えべん）という高僧  
（こうそう）が、仏教を広めるため、日本へやってきました。

当時の日本では、仏教をめぐって、蘇我氏（そがし）と物部氏（もののべし）が  
対立を深めていました。

物部氏（もののべし）は兵を出して、恵便（えべん）を捕まえようとしたが、  
恵便はあちこちと逃げた末、現在の鶴林寺のあたりにひそみました。

それを聞いた太子は、恵便（えべん）に教えをうけようとはるばるこの地を  
訪れました。

太子は、付近の住民がたてた「木の丸殿（きのまるでん）」という丸太（まるた）  
づくりの御殿（ごてん）で、恵便（えべん）から教えを受けました。

太子は14歳になったとき、秦河勝（はたのかわかつ）に命じて、小さなお寺を  
建てさせ、刀田山四天王寺聖霊院（とたさん してんのうじ しょうりょういん）  
と名づけました。

これが鶴林寺（かくりんじ）のおこりだということです。

（加古川中学校社会科研究会編より）